



野沢地区上空から撮影した飯豊連峰（令和4年4月 商工観光課撮影）

令和5年度町政方針

基本方針

計画の推進に向けて

令和5年度は、令和4年度に策定した西会津町総合計画・後期基本計画※に基づき、町の将来像「笑顔つながり夢ふくらむまち（ずーっと、西会津）」の実現に向け、4つの方向性の下、各種事業を総合的に実施します（事業内容は4ページから）。

人口減少対策の3本柱として「人材育成」「移住定住の促進」「健康長寿」を事業推進の基本的な考え方に据え取り組み、西会津町デジタル戦略の着実な実行、SDGsの推進、ウイズコロナ・アフターコロナへの対応により人口減少対策の加速化を図り、持続可能なまちを目指して取り組みを進めます。



▲ホームページはこちらから閲覧できます

町総合計画の推進に向けた取り組みとして、まちづくりの根幹を成す「まちづくり基本条例」に基づく町民主体の協働のまちづくりを一層推進し、「官民連携」による効果的で効果的な事業運営を進めます。

また、健全な行政運営に努めるとともに、ふるさと応援寄附金事業については、町の特産品や魅力の継続した情報発信に加え、「日本の田舎、西会津町。」を最大限活用したブランディングに取り組んでいきます。このほかにも、オンライン化によるワンストップ申請特例の簡略化を図り、寄附額2億円を目標に自主財源の確保と西会津ファンの獲得に努めていきます。

町では引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、将来に夢と希望が持てる活気のあるまちづくりに全力で取り組んでいきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

所信表明



▲3月10日に開会した町議会3月定例会で薄町長が所信を表明しました

新型コロナウイルス感染症拡大が叫ばれてから3年が経過し、今年5月からは感染症法上の2類相当から季節性インフルエンザと同等の5類へ移行される見込みとなるなど、コロナ禍を取り巻く環境は変化を続けています。

一方で、なつかしcarショーや雪国まつりを3年振りに通常規模で開催するなど、少しずつではありますが、町の活気は着実に取り戻されつつあります。

令和5年度は、西会津町総合計画・後期基本計画に定めた町の将来像とまちづくりの方向性に基づいて各種施策を推進し、本町発展のために、持続可能な多様性と包摂性のある社会の実現のため、最大限努力していく覚悟です。

遠くない将来のコロナ禍終息を見据え、感染症対策と経済活動促進の両立を図り、この美しい日本の田舎、西会津町の魅力を全国に広め、町内に活気を取り戻せるよう、引き続き積極的にまちづくりを推進してまいります。

※国土交通省東京航空局への福島県内包括飛行申請の承認を受け、喜多方警察署および西会津交番に飛行の届出をしています。

健やかな人とともに育むまちづくり

子育て支援

令和4年度に拡充した出産祝金をはじめ、保育料の無償化、乳幼児家庭子育て応援金の支給、インフルエンザ予防接種の無償化や放課後児童クラブにおける2人目以降の無償化を引き続き実施していきます。また令和4年度に国の補正予算により前倒しで実施された出産・子育て応援交付金については、令和5年度も継続して実施し、子育て世代の経済的な負担を軽減していきます。



▲アントレプレナーシップ教育

充実を図ります。子どもの屋内遊び場としての活用だけでなく、さまざまな交流が図られるよう、子育て世代や地域の皆さんと、施設の機能強化に向けて検討を進めます。

教育環境

国が進めるGIGA（一人一台のタブレット端末の配付や、全教室への電子黒板の設置、校内の高速通信ネットワーク整備が完了しました。県内の他市町村に先駆けて、GIGAスクール構想を実現し、本格

的に活用を進めています。町デジタル戦略にあわせ、小中学校のICT教育環境を最大限に活用すべく、ICT教育支援分野の地域おこし協力隊を2人体制とし、児童生徒や教職員の支援を行っていきます。ほかにも、学習アプリと授業支援アプリの導入や、タブレット端末の家庭への持ち帰りなどにより児童生徒のさまざまな学びを保障し支援していきます。

生涯学習

発と実践、5歳児と小学1年生を中心とした協働的な学習の実践などにより、保小中連携を強化していきます。

生涯学習

町のデジタル化推進のためのタブレット講座や、後世へ残す事業として、西会津の伝説・民話集作成事業を継続し、町民一人一人が主体性を持って生涯学習に取り組める場を提供していきます。読書の推進については、読書通帳を一層活用するとともに、小中学校と取り組みを連携しながら、読書量を増やし読解力の向上に努めていきます。併せて、町民の皆さんにも積極的に本を読んでもらえるよう、広報紙やケーブルテレビを活用した本の紹介活動をはじめとした各種取り組みを推進していきます。

スポーツ

運動を習慣化するため、気軽にスポーツに取り組めるグラウンドゴルフ、カローリング、ボッチャ、モルツ



▲市町村対抗軟式野球大会

クなどのニュースポーツの普及を主体に推進し、体力の維持、増進と健康づくりを進めていきます。また、競技力の向上では、ふくしま駅伝や軟式野球大会などの市町村対抗競技を中心に取り組んでいきます。さらに、スポーツ少年団など主体的に活動をしている関係団体の支援も行っています。

歴史・文化・芸術

芸術文化活動の推進では、歴史文化基本構想を推進するとともに成果を発表できる機会を設け、伝統芸能の継承と芸術文化活動を支援していきます。

新創地産の温故知新のまちづくり

農林業

町農林業振興アクションプランに基づき、戦略に掲げた重点事業を軸に、「米」「ミネラル野菜」「菌床キノコ」の振興を三本柱として各種事業に取り組んでいきます。

令和5年度は、町の農業者が抱える課題の解決を図り、持続可能な農業体制の構築のため、「(仮称)西会津町農業公社」の設立に向けた事業を最優先に取り組み、組織の円滑な立ち上げと安定的な事業運営に向け、人的および財政的に支援していきます。

西会津産米

「西会津一うまい米コンテスト」が令和5年度で10回目

を迎えることから、情報発信力のある特別審査員を招き、町内産米のPRを一層強化します。販路調査や新たな事業の導入の可能性についても積極的に取り組み、農業所得の向上につなげていきます。

ミネラル栽培

健康な土づくり事業の開始から25年を迎えることから、これまでの取り組みを評価・検証するとともに、生産者がミネラル栽培に取り組むメリットを実感できる体制の構築に取り組みます。

菌床キノコ

産地化に向けて引き続き支援を継続し、積極的に取り組む生産者にパイプハウスの貸し付けを進めます。

鳥獣被害防止対策

イノシシによる被害が深刻化しているため、引き続き鳥獣被害対策専門員を配置し、地域の支援などに取り組みます。また、電気柵の設置やICTを活用した捕獲対策の推進、新規猟銃の購入支援など、総合的な被害防止力の強化に努め、被害の低減を図ります。

商工業

「企業支援補助金」や



▲有害鳥獣解体処理施設

さらに、有害鳥獣解体処理施設の有効活用を図るほか、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限されているクマヤイノシシなどジビエ肉の出荷制限解除に向けて、県と連携を密にして取り組みます。

「中小企業振興資金融資制度貸付事業」を引き続き実施するほか、「中小企業融資制度資金利子補給補助事業」については、補助対象額などを拡充し、町内企業の支援をより一層推進します。さらに、商工業振興の中核的役割を担う「西会津町商工会」に対する支援の拡大と連携を強化するとともに、野沢

観光・交流

西会津なつかしCar

中心街の賑わいを創出するため、「にぎわい番所ぷらっと」のさらなる活用などに取り組んでいきます。ショー、西会津ふるさとまつり、西会津雪国まつりなど町内外から多くの来場者があるイベントの実施により、情報発信と交流人口の拡大を図ります。また、にしいづ観光交流協会などの関係団体と連携し、町の核となる観光資源の環境整備を進め、広域的な周遊観光の促進に取り組んでいきます。



▲ふるさとまつり

地域資源の磨き上げについては、「活力ある地域づくり支援事業」の推進により、地

移住・定住

移住・定住総合支援センター

域づくり事業に自主的に取り組む団体や町民の皆さんを積極的に支援します。加えて、株式会社モンベルとの連携協定を基としたアウトドア資源を活用した魅力創出にかかわる「自然体験魅力デザイン事業」を実施し、地域の活性化を図っていきます。

移住・定住総合支援センターをより一層強化し、「定住住宅整備費補助金」については移住者への補助要件と対象額を拡充します。また、新たに空き家を町が改修し、移住者の賃貸住宅として活用する「空き家活用事業」に取り組むなど、さらなる移住者への支援や空き家活用に向けた支援を行います。

このほかに、結婚希望者が結婚相談所などを利用する際の費用の一部を支援する補助制度を創設するなど、これまでの結婚祝金と併せて、さらなる支援体制により、成婚につながる取り組みと、定住の促進を進めていきます。

いきいき健康 こころつながる まちづくり

健康づくり

町では、町民の皆さんの健康づくりのため、健康コミュニティづくり推進事業に取り組み5年目を迎えます。引き続き、鎌田實先生や奥知久先生の指導を受けながら、「からだ」の健康、「こころ」の健康、「つながり」の健康の3つによる「さすけねえわ」の健康づくりの普及拡大を進めていきます。

また、健康づくりの基本となる「食」の大切さの普及、「運動」の習慣化に向けて、食生活改善推進員、健康運動推進員とともに健康づくり協力員の活動を強化し、「健（検）診」の受診率の向上と、要精検者



▲食生活改善推進員

の受診率向上に努め、併せて新たに「人間ドック助成事業」を創設し、病気の早期発見・早期治療につなげます。このほかにも、年間を通じた健康づくりを進めるため、「家庭血圧測定」と「健康ポイント手帳」の普及を継続し、町民の皆さん自らが自分の健康を意識できるような仕組みづくりを進めるとともに、働き盛り世代へ「ラジオ体操」を活用した運動の習慣化に努めます。

医療

医療体制の整備について、歯科を除く町内唯一の医療機関である町国保診療所は、町民への医療の提供のほ

か、町内の施設入所者への診療や学校医・産業医など、町内の医療サービス全般を担っています。本年度も継続して常勤医師3人による、診療体制の強化を図っていきます。また、会津医療センターや民間病院などに非常勤医師の派遣を要請し、内視鏡検査などの検査環境を充実させるとともに、整形外科の非常勤医師も引き続き要請し、安心できる医療体制の整備と安定した地域医療サービスの充実に努めます。

高齢者福祉

「西会津町第8期介護保険事業計画・第9期高齢者福祉計画」に基づき、元気な高齢者から要介護高齢者まで全ての高齢者の皆さんが、切れ目なく介護予防に取り組みめる体制を整備します。さらには、課題である介護人材確保のため「介護職員初任者研修事業」を実施し、医療や介護サービスについてスムーズな連携のための支援体制づくりを進めます。



▲介護職員初任者研修

本年度は、令和6年度からの次期介護保険事業計画等の策定に向けた作業を進め、これからの高齢者の生活を包括的に支えるため、医療・介護を連携した基本構想を策定し、施設整備の方向性を含めた地域包括ケア体制整備の構築に向け検討を進めていきます。

また、認知症に関連する相談も年々増えていることから、本人やその家族に寄り

社会福祉

「西会津町第6期障がい者計画」などに基づき、「西会津町授産場」や「相談支援事業所にしあいづ」、「ここに相談所」などと連携しながら、誰もが共に安心して生活できるまちづくりに取り組んでいきます。

コミュニティ

人口減少が進む中、集落機能の維持や集落の活性化に向け、引き続き集落支援員および集落支援担当の地域おこし協力隊を継続して配置し、奥川・新郷地区の支援に加え、野沢・尾野本・群岡地区にも範囲を広げ、さまざまな視点で支援を進めます。

誰もがこころよく暮らせるまちづくり

雪対策

「地域安全克雪方針」の策定および平成28年度に策定した「雪対策基本計画」の見直しに取り組みとともに、官民協働による克雪活動を進めます。町民生活に支障を来さないよう引き続き道路除雪に努めるほか、除排雪に必要な施設整備や除雪機械などの更新を計画的に進めます。

交通体系・道路網

町民バスについては、定時定路線バスとデマンドバスのそれぞれの利点を生かした運行の見直し改善を図りながら利便性の向上に努めます。また、な

循環線とデマンドバスの運行車両をそれぞれ1台更新し、安全で効率的な運行体制を確保していきます。

道路網の整備については、安全・安心の確保と持続性のある地域づくりを支え、良質な社会資本を将来に確実に引き継ぐため、効果的な整備と効率的な維持管理に努めます。

また、町道の改良事業は、地域からの要望などに基づき計画的に整備を進めていきます。修繕事業は、老朽化している橋梁やスノーシエッドなどを点検結果と長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や路線の重要度を勘案しながら、計画的に修繕を進めるとともに、舗装については、路面性状調査の結果に基づき、計画的に修繕を進めます。

国・県道については、町を横断、縦断する重要幹線として、その整備や適正な維持管理を期成同盟会の皆さんと連携し、関係機関へ強く要望していきます。特に、町縦貫道路の区間については、早期完

情報通信

令和4年度に中間見直しを行った「町デジタル戦略」を進化させ、デジタル技術を戦略的に有効に活用し、地域課題の解決や行政サービスの向上、移住定住の促進などを図っていきます。

成に向けた整備促進を積極的に要望していきます。



▲自治区でのデジタル教室

情報通信基盤の整備については、令和4年度から整備を進めている4K対応の自主放送送出設備および放送用機材の更新を進めるとともに、令和5年度は、ヘッドエンド設備を4K対応に更新します。

消防防災安全対策

消防設備について、小型動力ポンプ2台の更新と消防ポンプ庫2棟の建て替えにより、施設整備の充実を図ります。また、消防団の処遇改善と団員の確保、防災アプリの活用などにより、消防力の充実強化に取り組みほか、防災行政無線の増設、新たに雨量観測システムを町内2カ所に整備し、災害に強い安全なまちづくりを進めていきます。



▲令和4年度春季消防検閲

空家対策としては、計画的に危険空家の解体撤去を進めるとともに、次期空家対策計

自然・環境保全

老朽化が進んでいるさゆり公園施設の計画的な更新により、利用者の利便性向上を図るほか、福島レッドホープスとの連携などによる施設の有効活用と大学生などの合宿といった利用方法の拡大についても積極的に取り組めます。

上・下水道の整備

上水道などでは、安全で安定した飲料水を供給するため、老朽管や施設設備の更新を計画的に進めるとともに、引き続き水道未普及地区の解消などに取り組んでいきます。また、下水道については、施設の長寿命化対策と農業集落排水処理施設の統合により、効率的な運営に努めるとともに、個別排水処理事業の普及促進を図ります。